



### 第3代よねやま親善大使を募集します！

「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・セミナー・例会などで、米山学友の代表としてスピーチすることにより、当事業への理解を広める活動をしています。これまでに、初代2人、第2代3人の計5人が選任され、このたび、「第3代」よねやま親善大使を大募集します。対象となるのは、日本国内在住の

米山学友（2018年6月終了者含む）で、任期は2018年7月からの2年間。応募締切は、2月19日（当会必着）です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」欄からご覧ください。皆さまの地区・クラブでお世話いただいた学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください！（学友ご本人からの応募が必要です）

### 2018-19年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12月7日、次年度の地区米山記念奨学委員長を対象とした第1回セミナーを開催しました。

午前には、小沢一彦理事長からのあいさつに続いて、第2720地区前委員長の秋吉実氏による講義「委員長を経験して気付いた米山事業の魅力と可能性」と、第2800地区委員長の久保章宏氏による事例報告「理解促進から寄付増進へつなげる」、続いて午後は、テーマ別のグループディスカッションや質疑応答、選考・学務委員の井原實氏からの講評など、盛りだくさんの内容で行われました。アンケートでは、「初参加だ



ったが学ぶことが多かった」「地区では聞けない米山活動について多くの課題解決のヒントが得られた」などの声をいただきました。第2回セミナーは、6月15日に開催予定です。

### 寄付金速報 -今年もよろしくお願いたします-

12月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%増（普通寄付金：0.9%増、特別寄付金：7.6%増）約4,900万円の増加となりました。7月からの累計寄付額が約9億円と、引き続き好調を維持しています。

「2017年度 下期普通寄付金のお願い」を当会から、また、ガバナー事務所経由で全クラブ

へ配信しました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

#### さまざまな寄付のカタチ

高崎北RCの 故藤井秀久様（第24回米山功労者メジャードナー）の奥様から、12月に500万円のご寄付をいただきました。藤井様の娘婿にあたる樋口哲雄様（高崎北RC）にお話を伺いました。

義父は、家族、会社の次にロータリーが来るほど、熱心なロータリアンでした。生前、米山への寄付にも熱心だった背景には、家が貧しく高校に進学できなかったため、「向学心に燃える若者を支援したい」との強い思いがあったようです。その遺志を汲み、義母は「教育に関わる団体に遺産を寄付したい」と、このたび財団と米山に同額を寄付しました。入会歴の浅い私も、義父の遺してくれたロータリーとの縁を大事にしていきたいと思ひます。

## 台湾米山学友会が総会を開催



12月2日、台湾米山学友会の総会が開催され、日本からロータリアンら41人を含む、計150人が集まりました。今年は同学友会の社団法人設立20周年の節目を迎え、当会小沢理事長を含む役員も多く参加しました。

総会では、歴代理事長、および当会役員への感謝状贈呈や新会員の歓迎セレモニーのほか、陶芸家として活躍する学友・張義明<sup>ツァンイーミン</sup>さんの作品のチャリティオークション、各種演奏が披露さ

れ、学友会が支援する日本人奨学生も流ちょうな中国語で日頃の感謝を述べました。


同学友会では呉憲璋<sup>ウーシェンツァン</sup>会長のもと、さまざまな改革が行われており、毎年発行している会報にはより多くの学友が編集に関わったほか、扶輪米山会のシンボルマークが一新され、マークをかたどったピンバッジが全員に配られました。総会の記念品、

ミニチュア自転車の置物は、同学友会が支援する台湾彰化刑務所で作られたもの。呉理事長は「時代を物語るレトロな自転車が当時から現在へ辿り着き、ロータリーを象徴する歯車からの原動力を受け取った私たちが、これから将来へ向けて駆動していきたいとの思いを込めました」と、語りました。




## 秋の叙勲で学友が旭日小綬章に輝く

平成29年秋の叙勲受章者が発表され、外国人叙勲としてなんと2人の学友が旭日小綬章に輝き、12月にそれぞれ日本の在外公館において勲章・勲記の伝達式が行われました。

 朴明欽<sup>パクミョンギム</sup>さん（韓国／1983-85／京都東山RC）、元・釜山韓日文化交流協会理事長。日本・大韓民国間の友好親善及び相互理解促進に寄与。



“同志社大学の修士課程で学び、さらに博士課程まで進むことができたのは米山記念奨学会のお蔭だと存じております。韓国では大学教育や学問研究を中心にしながらも、日韓両国の相互理解と友好親善を図るため両国交流団体にて社会活動を続けています。日本での留学の際、貴奨学金を頂いたこと重ねて御礼申し上げます”

 ジャンチブ・ガルバド<sup>ジャンチブ・ガルバド</sup>ラッハ<sup>ラッハ</sup>さん（モンゴル／1998-99／山形北RC）、新モンゴル学園理事長。モンゴルにおける日本式教育普及及び日本・モンゴル間の相互理解促進に寄与。



“私は、皆様方への感謝を胸に恩返しをしたい一心で努めてきただけですので、この章は皆様方のものです。この勲章を受章したことで新たな活力がわいてきました。これからもみなさまへのご恩を倍々返しできるように力の限り努力していきます。どうか温かく見守ってください”

### ご寄付の確定申告用領収書について



昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。